

BlueDot 26 Plus E 12

取扱説明書



お客様へ

この度は、弊社のコーヒーマシン「BlueDot 26 Plus E 12」をご購入いただき、誠にありがとうございます。マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前に本書をお読みにになり、内容を十分ご理解ください。本書は安全な場所に保管して、必要な時に見ることができる状態にしておいてください。本書の不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、本書に記載してある連絡先にお問い合わせください。

ブルーマチックジャパン株式会社

目 次

・安全上の注意	2
・主な仕様	5
・付属品	6
・お手入れのために準備いただく消耗材	6
・各部の名称	7
・操作パネルの説明	8
・開店前の準備手順(原料の補充)	9
・開店前の準備手順(本製品の立ち上げ)	10
・メニューの抽出	10
・日中のオペレーション 原料の補充	11
・日中のオペレーション コーヒーカス／排水の廃棄	12
・日中のオペレーション カス箱のカウンターリセットの操作	13
・お手入れ 製品のクリーニング	14
・毎日終業時のお手入れ オールインワンクリーン	15
・毎日終業時のお手入れ マシンの手動清掃	17
・週一終業時のお手入れ 抽出ユニット分解洗浄	18
・週一終業時のお手入れ ミキサーボディー分解洗浄	22
・週一終業時のお手入れ 豆ホッパーの清掃	24
・週一終業時のお手入れ パウダーキャニスターの清掃	25
・本製品の電源を切る	26
・消耗品	27
・アラーム表示	28
・トラブルシューティング	30
・保証とアフターサービスについて	37
・コーヒーマシン 保証書	38

安全上の注意

(安全に関する重要事項です必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。

全般的な注意事項



警告

- 本製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。
修理や分解組立が正しく行なわれないと、本製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。
(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、コールセンターに連絡をしてください。
(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- 本製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断器が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはコールセンターに連絡をしてください。
そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。
ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆などが無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 本製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因になります。
- 長時間本製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、本製品内部の水やコーヒー豆、パウダーなどを全て取り出し、お手入れを行ってください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、電源プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。

安全上の注意

- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。電源プラグや電源コードの修理交換は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。 火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
- 最初に本製品側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- 本製品の電源スイッチを切ってからコンセントから電源プラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- 本製品は業務用のコーヒーマシンです。

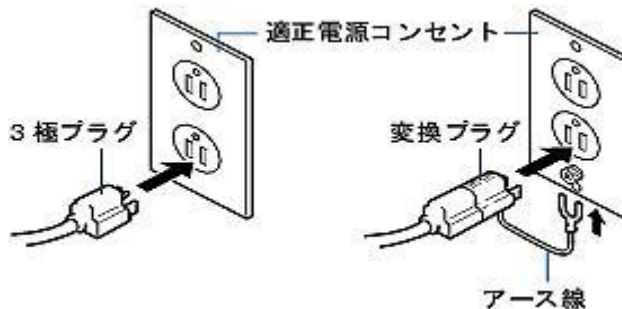
設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 本製品に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、漏電遮断器の設置、アース接続、電源の容量の確認を行うなど、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのものをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- 本製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本製品の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。



安全上の注意



注意

- 設置及び据付を行なう際には本製品を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に本製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業や本製品の洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～30℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本製品の周囲に熱がこもらないように周囲の壁や家具や機器などから15cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5 メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用する際は、浄軟水器を設置してください。また浄軟水器の使用条件にあわせて定期的に交換してください。
- 純水や純度の高い水を使用しないでください。水位センサーが水位の検出ができず、漏水の原因になります。

操作を行なう時の注意事項



注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、水タンク、キャニスター、ホッパー、シューター、ミキシングボディ、抽出ユニットなどの食品に触れる部品は洗浄し、乾燥させてから使用してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を用意してください。抽出中は、本製品から十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- マシンのお手入れは規定どおりに実施してください。
規定どおりお手入れを行なわず放置しておくと、マシン内部に残ったパウダー、抽出液、コーヒーカスなどに細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- 前面パネルのクリアー部分(アクリル製)とメッキ部分にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 分解洗浄する部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。乾燥機や食器洗浄機は使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

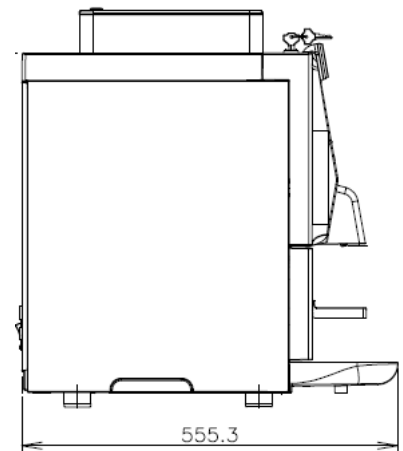
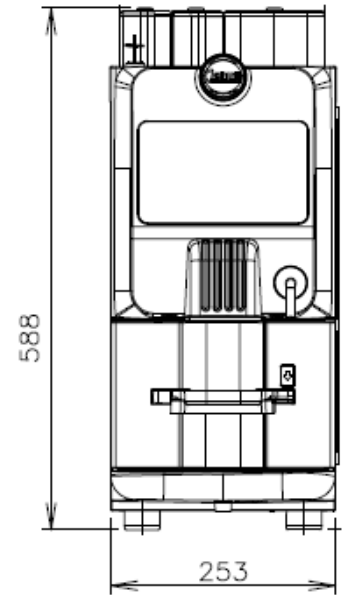


注意

- 本製品を正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行なってください。
- 水の供給をしない状態で本製品を使用しないでください。故障の原因となります。
- 水道直結仕様の製品の移動は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。
水抜き処理をせずに移動させると故障や水漏れの原因となります。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないまま本製品を放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 本製品の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

主な仕様

幅	253mm
高さ	588mm
奥行き	555.3mm
重量[乾燥重量]	24kg
色	黒
コーヒー豆ホッパー	1式
抽出ユニット	1式
グラインダー	1式
パウダー用キャニスター	2式
ミキサー	1式
推奨抽出杯数	50杯(/日)
操作パネル	7インチ タッチスクリーン
メニュー数	最大24 メニュー 1画面6(最大16)メニュー x 4 画面 ホットウォーターを含む
コーヒー豆ホッパー容量	500g
パウダー用キャニスター容量 ※パウダー粒度によって 重量に差があります	400g
コーヒーカス箱容量 ※1杯当たりのコーヒー粉量に よって杯数に差があります	約30杯
排水トレイ容量	500cc
ドリンク供給口の高さ	8~17cm
グラインダー 仕様	コニカルミル
抽出ユニット 仕様	エスプレッソ型 コーヒー粉量7~10g
給水方法	水道直結
コーヒーボイラー 仕様	ボイラータンク式(0.6L)
スチームボイラー 仕様	サーモブロック式
水供給ポンプ	内蔵式 バイブレーションモータ
定格電源	単相 100V 50 / 60 Hz
定格消費電力	1400 W
電源コード	約2m
水道圧(直結仕様)	0.2~0.5メガパスカル(MPa)
給水接続方法(直結仕様)	15A バルブ止め
適応水硬度	50 (mg/L)以下
使用温度・保管温度	5 - 30℃
使用湿度	80%以下
水タンク仕様(オプション)	可 容量(2.3L)
お湯抽出口(オプション)	可
ダストシュート加工(オプション)	可
排水直結加工(オプション)	可
ネットワーク機能(オプション)	可 CARicare



- (注)凍結の恐れがある場合には本製品内の水を抜いてください。
(注)2日以上使用しない場合は、水タンクの水を捨てて中性洗剤で洗い乾燥させてください。
(注)お湯ではなく必ず水を給水してください。
(注)水以外やミネラルウォーター類、純水や硬度の高い水は使用しないでください。

※取扱説明書内で使用されている画像は一部色が違う物を使用しています。

付属品



排水受け容器4.2L
(商品コード9100058)



マシンクリーナー(2g) 20錠入り



清掃ハケ
(商品コード904112)



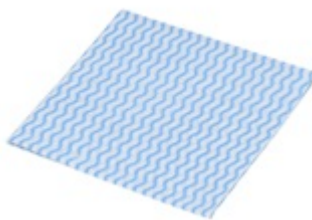
清掃用ブラシセット
(商品コード93130)

上記画像と異なる色、形状の付属品が同梱される場合があります。

お手入れのために準備いただく消耗材



マシンクリーナー(2g) 100錠入り
(商品コード93000)

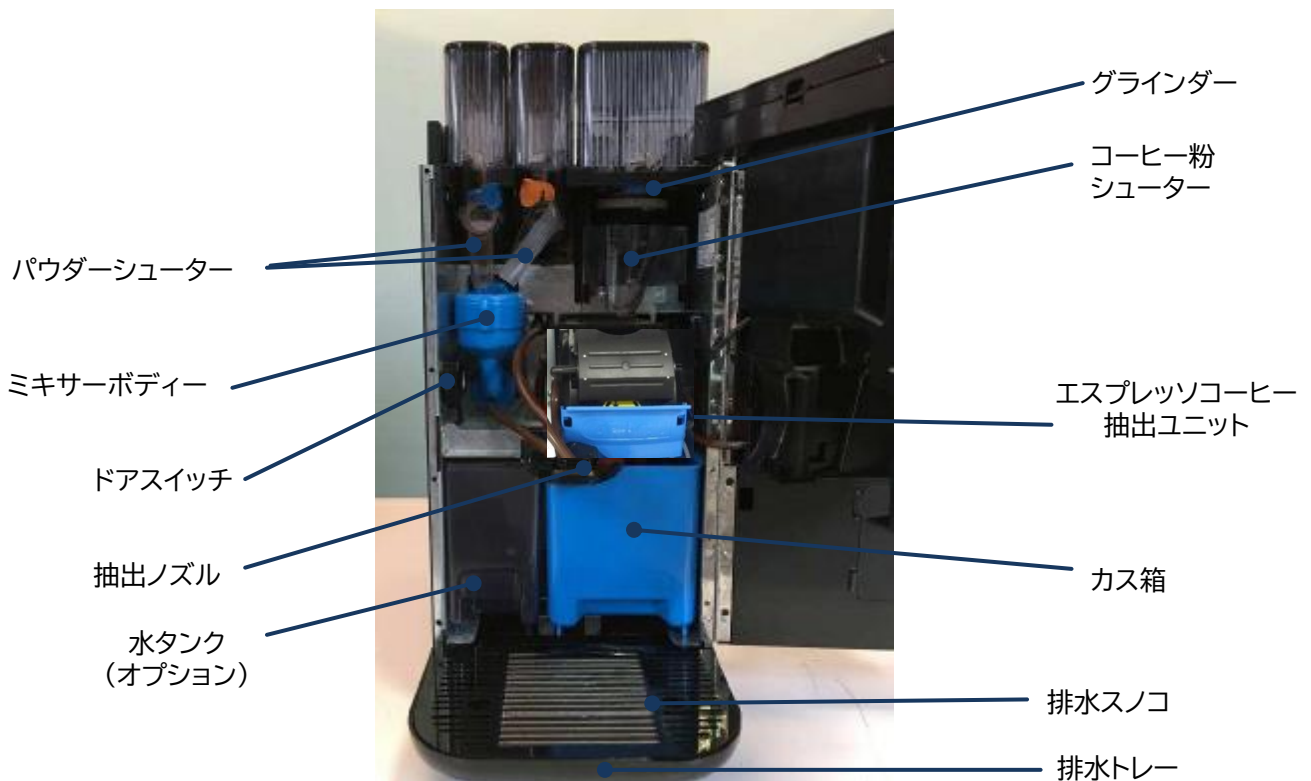


カウンタークロス



ペーパータオル

各部の名称



※色が違う部品を使用していることがあります。

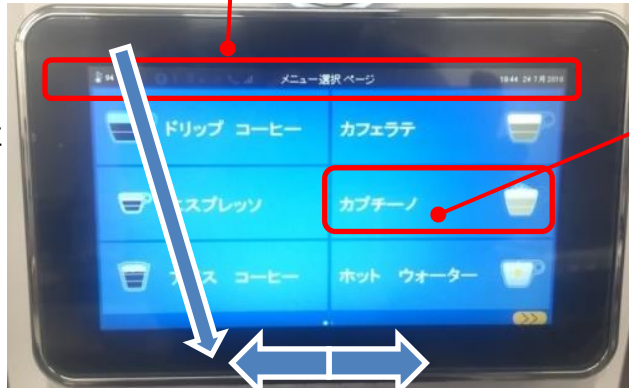
操作パネルの説明

メニュー画面

インフォメーションバー

左にボイラーの温度、エラーサイン、中央に画面の名称、右に日付時刻を表示します。

画面の端からフリック操作をするとメニュー画面が終了し、パスワード入力画面に切り替わります。



ドリンク名ボタン

抽出したいメニューをタッチすると抽出を開始します。

メニュー画面が複数ある場合は、左右にフリックすると、前後メニューページに移動できます。

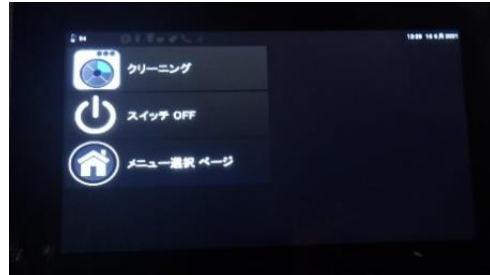
パスワード入力画面

戻る ボタンをタッチすると、メニュー画面に戻ります。パスワード[44444]を入力し、決定 ボタンをタッチするとメンテナンス画面に切り替わります。



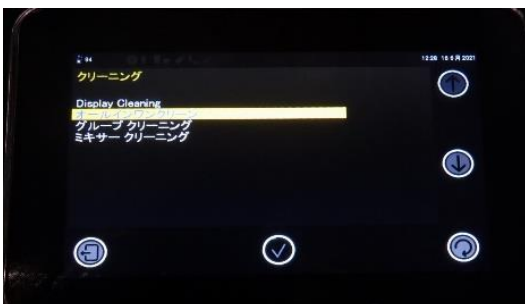
メンテナンス画面

クリーニングボタンをタッチすると、クリーニングメニュー画面に切り替わります。
スイッチOFFボタンをタッチすると、OFF画面に切り替わります。
メニュー選択ページをタッチすると、抽出準備動作を開始し、抽出準備が完了するとメニュー画面に切り替わります。



クリーニングメニュー画面

クリーニングメニューを選んで、決定 ボタンをタッチすると選択したクリーニング画面に切り替わります。
戻る ボタンをタッチすると、メニュー画面に戻ります。
終了 ボタンをタッチすると、メンテナンス画面に戻ります。



OFF画面

電源スイッチをONにしてしばらくするとこの画面が表示されます。
Powerボタンをタッチすると、抽出準備動作を開始し、抽出準備が完了するとメニュー画面に切り替わります。



Powerボタン

開店前の準備手順（原料の補充）

- 1 コーヒー豆、パウダーを補充してください。

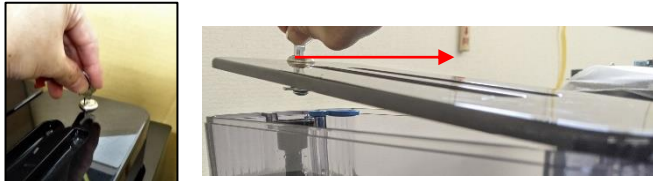
パウダーキャニスター① パウダーキャニスター② 豆ホッパー①

メニューで左右のキャニスターのパウダーを選んでいるので、左右のキャニスターに入れるパウダーの種類を取り違えると
同じメニュー選択でも味が変わります。キャニスターの位置と
パウダーの種類は十分確認してください。



- 2 補充する原料が入る容器にカギを挿入し、フタのロックを解除してフタを取ります。

カギをカギ穴に挿入し、反時計回りに90度回してフタのロックを外します。このときフタからカギは抜けません。カギを垂直方向に2cmほど持ち上げ、手前に引きフタの爪を外し、ホッパー／キャニスターのフタを取ります。



- 3 使用するコーヒー豆、パウダーを補充します。

原料がカギ穴に入らないように、カギ穴に青いカバーを被せ、豆またはパウダーを補充し、青いカバーを開きます。

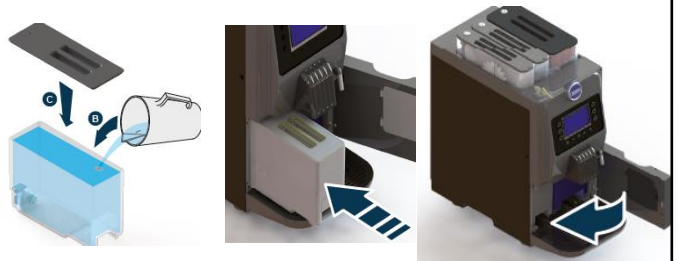


- 4 容器のフタの閉じ、カギを時計回りに回してフタをロックし、カギを抜きます。

容器のフタの爪をホッパーの窪みに合わせてからフタのカギをホッパーの穴に挿入、カギを時計回りに90度回してフタをロックします。フタをロックするとフタからカギが抜けるようになります。



- 5 (水タンク式の場合)、前面ドア(下)を開け、水を満たした水タンク左側に挿入し、前面ドア(下)を閉じます。



注意: 本製品の周囲の温湿度で固まることなく保管可能なパウダーを補充してください。



密閉した容器での保管が必要な吸湿しやすいパウダーは不具合の原因となりますのでご使用できません。

原料が良好な状態で使い切るよう補充量を調整してください。

冷えた原料を補充すると結露が起こり原料の吸湿が進みますので、常温の原料を補充してください。

補充の際には原料の袋、フタのカギやホッパー、キャニスター部品の一部などの異物が混入しないように注意してください。異物により原料の使用量が減り味が薄くなる、グラインダーが故障するなどの不具合が発生する恐れがあります。

カギ穴に青いカバーを被せてから、原料補充を開始してください。誤ってカギ穴にコーヒー豆やパウダーが詰まってしまうとフタを閉じることができず、マシンが使用できなくなってしまいます。

カギ穴にパウダーが詰まってしまったら速やかに掃除機等で吸引してください。

吸湿してしまうと固着してしまい排除が困難になります。

ホッパー／キャニスターが破損してしまった場合は新しい部品に交換してください。

破損を放置しますと欠けた隙間から虫や異物が混入する恐れがあります。

原料補充でフタのカギを開けるとマシンはOFFになります。

原料補充後にカギを閉じた後はマシンのPOWERボタンをタッチして起動させてください。

開店前の準備手順（本製品の立ち上げ）

1

マシン背面の電源スイッチをI側に倒して電源を入れます。



2

OFF画面が表示されたら、Powerボタンをタッチしてください。



3

カスを捨てた後はYES
捨てていない場合はNo
どちらかをタッチしてください。
Noのときは④に遷移します。
YESのときはカス箱カウンタをリ
セットして②に遷移します。(P13参照)



4

ヒーティング表示に切り替わり設定温度までボイラーをヒーティング
します。約5分間



ボイラーヒーティング
温度表示

5

ヒーティングが終わると
メニュー画面が表示されます。



メニュー抽出

1

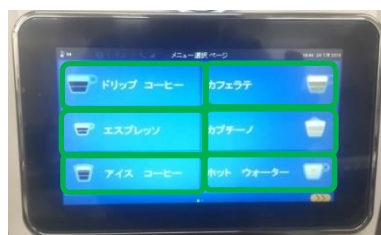
抽出口の下にカップをセットして
ください。



ドリンクメニューの量に適したサイズ
のカップを使用してください。

2

メニュー画面のお好みのドリンク
名ボタンをタッチしてください。



抽出中は、本製品から十分離れてく
ださい。抽出液や熱湯の飛沫により
火傷の原因になります。

3

抽出中画面が表示されている
ときに [X] をタッチすると抽出
を停止します。
(背景色、イラストなどは設定で
変わります。下記は例です。)



停止
ボタン

進行バー

4

抽出が終わると完了音と共に
抽出完了画面が表示されます。



5

カップをお取りください。



6

メニュー画面に抽出可能なド
リンク名が表示されます。



エラーサインが表示されている場合
は、タッチしてアラーム表示の内容
を確認して対処してください。

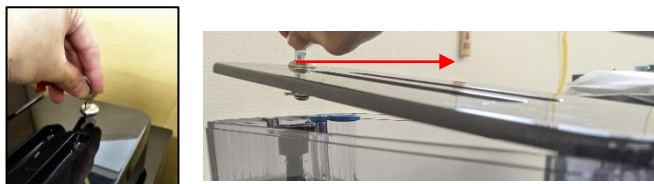
- 1 定期的に原料の残量を確認し、コーヒー豆、パウダーを補充してください。
 コーヒー豆が不足した状態で抽出すると補充通知のエラーが表示され、補充するまでメニューが選択できませんが、パウダーの補充通知機能はありません。

※補充するキャニスターを間違えると味が変わります。
 キャニスターの位置とパウダーの種類は十分確認してください。
 ※エラーの数字はキャニスターの位置を示しています。



- 2 補充する原料が入る容器にカギを挿入し、フタのロックを解除してフタを取ってください。

カギをカギ穴に挿入し、反時計回りに90度回してフタのロックを外します。このときフタからカギは抜けません。カギを垂直方向に2cmほど持ち上げ、手前に引きフタの爪を外し、ホッパー／キャニスターのフタを取ります。



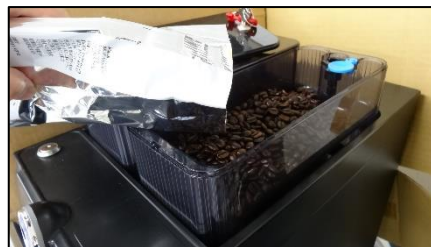
- 4 容器のフタの閉じ、カギを時計回りに回してフタをロックし、カギを抜いてください。

容器のフタの爪をホッパーの窪みに合わせてからフタのカギをホッパーの穴に挿入、カギを時計回りに90度回してフタをロックします。フタをロックするとフタからカギが抜けるようになります。

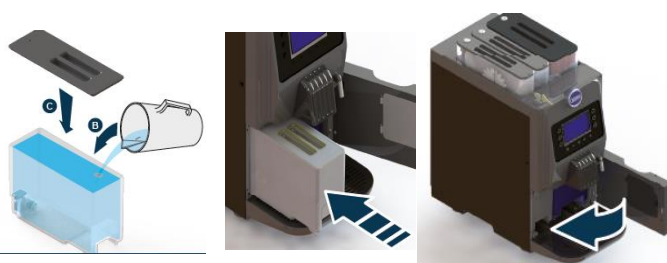


- 3 使用するコーヒー豆、パウダーを補充してください。

原料がかぎ穴に入らないように、カギ穴に青いカバーを被せ、豆またはパウダーを補充し、青いカバーを開きます。



- 5 (水タンク式の場合)、前面ドア(下)を開け、水を満たした水タンク左側に挿入し、前面ドア(下)を閉じてください。



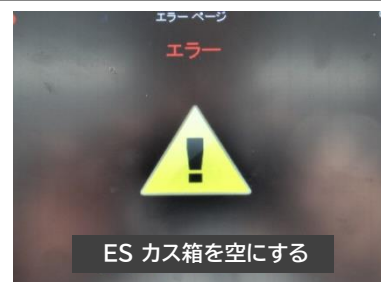
注意: 本製品の周囲の温湿度で固まることなく保管可能なパウダーを補充してください。
 密閉した容器での保管が必要な吸湿しやすいパウダーは不具合の原因となりますのでご使用できません。
 原料が良好な状態で使い切るよう補充量を調整してください。
 冷えた原料を補充すると結露が起こり原料の吸湿が進みますので、常温の原料を補充してください。
 補充の際には原料の袋、フタのカギやホッパー、キャニスター部品の一部などの異物が混入しないように注意してください。異物により原料の使用量が減り味が薄くなる、グラインダーが故障するなどの不具合が発生する恐れがあります。
 カギ穴に青いカバーを被せてから、原料補充を開始してください。誤ってカギ穴にコーヒー豆やパウダーが詰まってしまうとフタを閉じることができず、マシンが使用できなくなってしまいます。
 カギ穴にパウダーが詰まってしまったら速やかに掃除機等で吸引してください。
 吸湿してしまうと固着してしまい排除が困難になります。
 ホッパー／キャニスターが破損してしまった場合は新しい部品に交換してください。
 破損を放置しますと欠けた隙間から虫や異物が混入する恐れがあります。
 原料補充中、フタのカギを開けるとマシンはOFFになります。
 原料補充後にカギを閉じた後はマシンのPOWERボタンをタッチしてメニュー画面を表示してください。

◎コーヒーカス箱のカス廃棄

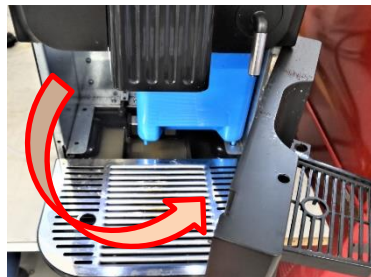
コーヒーの抽出カウンターが設定された杯数をカウントした時に「ES カス箱を空にする」と表示されます。

カス箱を抜いて溜まったコーヒのカスを捨て、カス箱を戻してください。

※ 抽出のカウントが設定杯数に達するとアラームが出るようになっています。



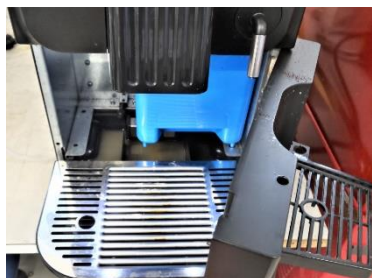
①前面下ドアを左前に開けてください。



②カス箱を取り出して中のカスを捨ててください。



③カス箱を元の位置に戻してから前面ドアを閉めてください。



④OFF画面が表示されたら、カス箱のカウンターリセット操作をしてからメニュー画面に戻してください。(P13参照)



【注意】チューブが干渉してカス箱が入りにくい場合があります。

奥まで入れられないと感じられた際は奥を確認してチューブを避けるようにして入れてください。



◎排水トレイの排水廃棄

排水トレイに350ml以上排水が溜まるとセンサーが検知し、「排水トレイが満杯です」と表示されます。

排水トレイを抜いて溜まった水を捨て排水トレイを元の位置に差し込んでください。

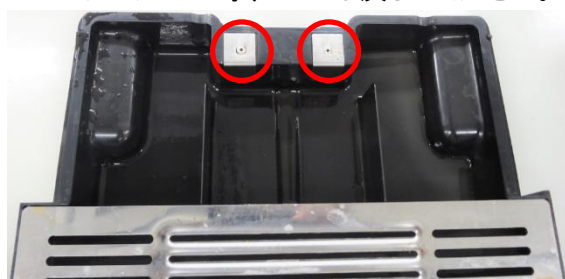
満杯表示



排水トレイを本製品に戻す際は奥まで差し込んでください。



トレイ金属部が汚れにより誤検知を起こすことがあります。トレイ金属部をきれいにカウンタークロスで拭いてから戻してください。



日中のオペレーション カス箱のカウンターリセットの操作

OFF画面から電源をONすると必ずコーヒークス箱をリセットするか選択する画面が出るようになります。「カス箱は空ですか？」の画面で「YES」を選択するとリセット画面が出て決定ボタンをタッチするとカウンターがリセットされます。

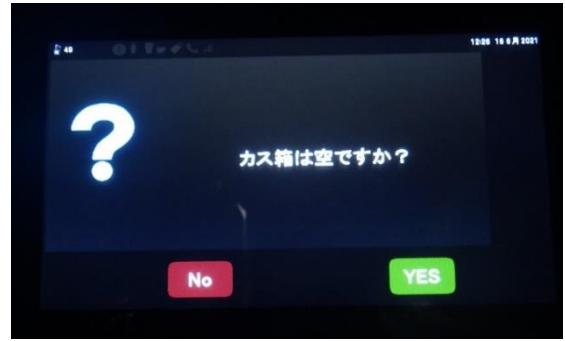
注意:カス箱を空にしない場合は必ず「No」を選択してください。あふれる場合があります。

カスカウンター30杯に達した場合の「ES カス箱を空にする」はカス箱のカス廃棄しセット後にOFF画面から電源をONするとリセットの画面が表示されます。

- 1 前面ドアを閉め、OFF画面になったらPowerボタンを押してください。



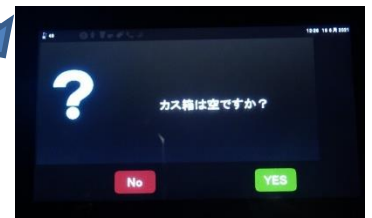
- 2 カスを捨てた後はYES、捨てていない場合はNoをタッチしてください。
YESのときは3、Noのときは5に進んでください。



- 3 ESカス箱杯数MAX画面が表示されますので、カウンターリセットボタンをタッチしてください。
カス箱カウンターをリセットし再起動します。



- 4 ディスプレイは再度OFF画面になります。Powerボタンをタッチした後、カス箱は空ですか？画面が表示されますので、Noをタッチしてください。



- 5 ヒーティング中画面を経由して、メニュー画面が表示されます。



食品衛生環境を保つため、品質の安定したドリンクを抽出するため、マシン状態を良好に保つことが不可欠です。以下のお手入れを実施してください。

規定どおりにお手入れを行わず放置しておく、マシン内部のドリンクが通過する経路に残ったパウダー、抽出液、

コーヒーカスなどにカビなどの雑菌が繁殖して衛生状態が悪化し、健康被害を引き起こす恐れがあります。

！ 誤った手順で行った場合、火傷などのケガ、マシン内部に誤って残った洗浄剤のドリンクへの混入、水漏れなどのマシン故障、抽出ドリンクの品質の悪化が発生する可能性があります。規定の手順で実施ください。

お手入れ項目	種別	頻度	内容	ページ
オールインワンクリーン	半自動	毎日 終業時	終業時に行う全抽出経路のクリーニングです。	15-16
マシンの手動清掃	手動	毎日 オールインワンクリーン後	終業時に行う手動清掃です。	17
抽出ユニットの分解洗浄	手動	毎週 オールインワンクリーン後	週に1度抽出ユニットを分解洗浄し付着した古いコーヒーカスを除去します。	18-21
ミキサーボディーの分解洗浄	手動	毎週 オールインワンクリーン後	週に1度ミキサーを分解洗浄し付着した古いパウダー原料を除去します。	22-23
豆ホッパー、パウダーキャニスターの分解洗浄	手動	毎週 オールインワンクリーン後	週に1度古い豆やパウダーを廃棄して、ホッパー、キャニスターを分解洗浄し、付着した古い原料を除去します。	24-25

【製品のクリーニングのために準備いただく消耗材】

コーヒーマシンクリーナー（1錠/回）

カウンタークロス

ペーパータオル

【付属品】

排水受け容器4.2L

清掃用ハケ

清掃用ブラシセット



上記画像と異なる色、形状のものが付属される場合があります。

稼働した日は終業時にオールインワンクリーニングを必ず行ってください。

注意 :行わないと食品衛生悪化、ドリンク品質の悪化、マシン故障が発生のリスクが高まります。
 誤った手順で行った場合、火傷などのケガ、マシン内部に誤って残った洗浄剤のドリンク混入などの事故、抽出ドリンクの品質の悪化が発生する可能性があります。規定通りの手順で実施ください。



1 抽出ノズルを中ブラシを使用
して掃除してください。



中ブラシ



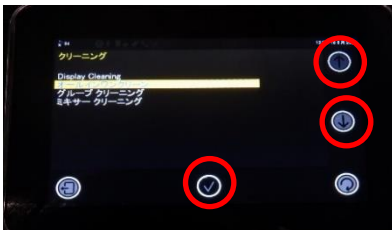
2 メニュー表示画面の状態から
指で画面の枠外から枠内にフリックしてください。



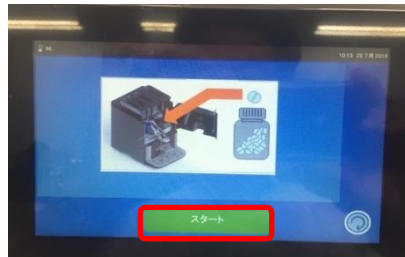
3 パスワード画面が表示されたら
「44444」を入力し、決定ボタン
をタッチしてください。
メンテナンス画面が表示されたら
「クリーニング」をタッチしてくだ
さい。



4 クリーニング画面になったら、上
下ボタンでカーソルを「オールイ
ンワンクリーン」に合せて決定ボ
タンをタッチしてください。



5 下の画面になったらスタート
ボタンをタッチしてください。

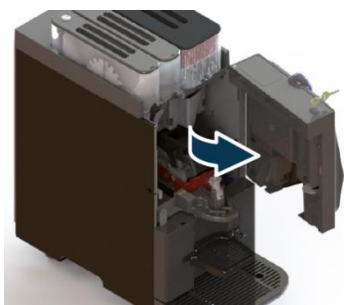


**ドア開-クリーナ投入
ドア閉**

が表示されましたら⑥に進んでくだ
さい。(ドア開閉のタイミングが早いと
クリーニングモードに入りません)



6 ドアキーを解除して前面ドア
を開けてください。



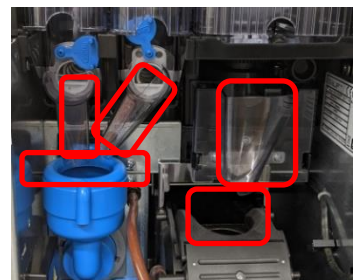
7 抽出ユニットの穴にマシナクリーナーを1錠入れてください。
パウダーシューター、ミキサー開口部にパウダーが付着している場合は清
掃用ハケを使ってミキサー内部にパウダーを落としてください。
コーヒーシューター、抽出ユニットの周囲
にコーヒー粉が付着している場合は清掃
用ハケを使ってコーヒーカス入れに落
としてください。



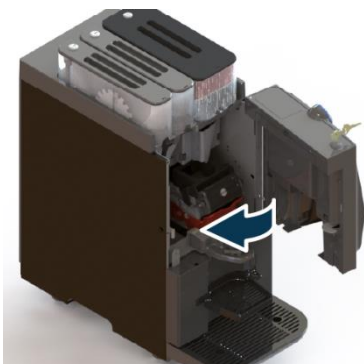
抽出ユニット



清掃用ハケ



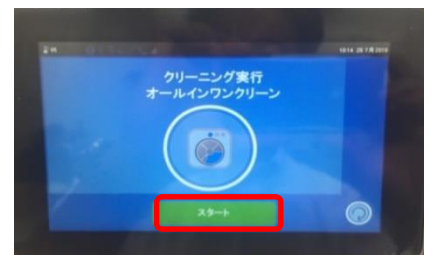
8 前面ドアを閉めてドアキーを
閉めてください。



9 抽出口の下に排水受け容器
を置いてください。

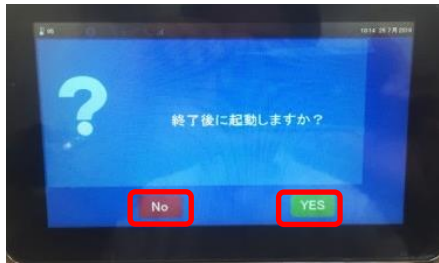


10 下記画面が表示しましたらス
タートボタンをタッチしてくだ
さい。



11

下記画面が表示されましたら、クリーニング終了後の状態を選択してください。
続けて終業時の手動清掃をする場合はNoを、営業中の場合はYesを選択します。



Yes を選択： クリーニング終了後
メニュー画面



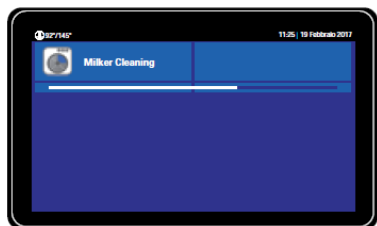
No を選択： クリーニング終了後
OFF画面



12

クリーニングがスタートします。

- ①ミキサークリーニング
(パウダードリンク経路)
 - ②ESグループクリーニング
(コーヒー経路)
- の順でクリーニングを実施します。

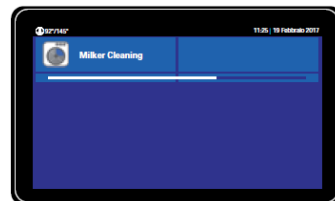


13

クリーニング中に[排水トレイが満杯です]と表示された場合は排水トレイを抜いて排水を捨ててください(ただし 前項「9」の手順で抽出ノズル下に排水受け容器が置かれている場合は排水トレイに排水が入らないのでこの表示は出現しません)

トレイを再セットするとクリーニングが再開されます。

※トレイの抜き差しの際、画面表示が変わるまで5秒程かかります。



トレイ再セット後、再スタートします。

14

クリーニングが終了すると 前項「11」で選択した状態で終わります。
排水受け容器に溜まった排水を捨て、水洗いし、片付けてください。



Yes を選択：メニュー画面



No を選択：OFF画面



オールインワンクリーンはおおよそ8分で完了します。

終業時、オールインワンクリーン実施後に以下の清掃を行ってください。

注意 :行わないと食品衛生悪化、ドリンク品質の悪化、マシン故障が発生する可能性があります。
 誤った手順で行った場合、火傷、ケガ、部品の破損、抽出ドリンクの品質の悪化が発生する可能性があります。規定通りの手順で実施ください。



1 カス箱、排水トレイ、排水スノコ、水タンクの水洗い

マシンからカス箱、排水トレイ、排水スノコ、水タンクを取り外し、水洗い清掃を行い、水気を拭き取り乾燥させてからマシンの所定の位置に戻してください。

OFF画面のPowerボタンをタッチして、カス箱カウンターをリセットしてください。(P13参照)

汚れの付着がある場合は、食器用中性洗剤と柔らかい食器用スポンジを使って汚れを浮かせてから、流水ですすいでください。



注意:本製品から外せる物は食器洗浄機や乾燥機は使用しないでください。



カス箱



排水トレイ、排水スノコ



水タンク

※水タンク式の場合のみ

※排水トレイの金属部は汚れが固着すると、センサーが反応しにくくなります。特にきれいにふき取りしてください。

2 操作パネルとマシンの外装のふき取り清掃

本製品背面の電源スイッチを○側に倒して電源を切ります。

操作パネルとマシンの外装をカウンスクロス等の清潔な布を使用してふき取り清掃を行ってください。

汚れの付着がある場合は、食器用中性洗剤と柔らかい食器用スポンジを使って汚れを浮かせてから、きれいに拭き取ってください。

※前面ドア(下)はドリンクがこぼれたり飛び散ったりして汚れていることがあります。

汚れが固着しないように、念入りにふき取りを行ってください。



電源スイッチを○側に倒します



操作パネル

前面ドア(下)

稼働した週は週に1回の頻度で終業時に抽出ユニットの分解洗浄を行ってください。

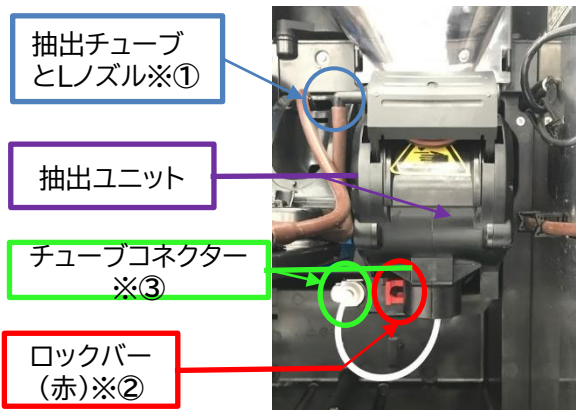
注意 :行わないと抽出ユニットに残った古いコーヒーカスにより食品衛生悪化、ドリンク品質の悪化、マシン故障が発生する可能性があります。
 誤った手順で行った場合、ケガ、部品の破損、抽出ドリンクの品質の悪化が発生する可能性があります。
 規定の手順で実施ください。

抽出ユニットを外して分解洗浄してください。
 エラーの発生や故障の原因の予防になります。

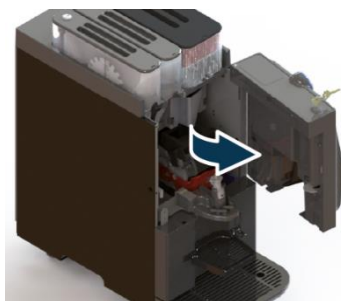
[グループエラー**](**は番号)が表示された場合、
 この手順に従い清掃することで改善する事があります。
 抽出ユニットの取り外し作業は
 事前にアルコールスプレーを手に噴霧してから行います。



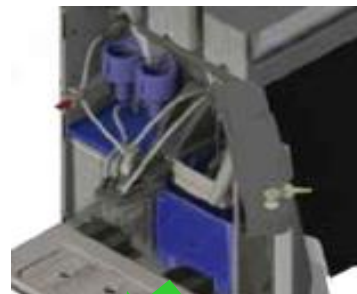
スマートフォンや
 タブレットから
 こちらのQRコードに
 アクセス頂くと、
 分解洗浄の動画を
 ご覧になれます。



1 ドアキーを解除して前面
 ドアを開けてください。

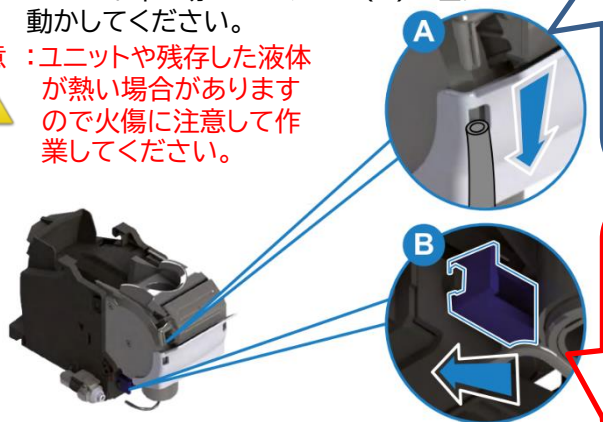


2 カス箱を抜いてください。

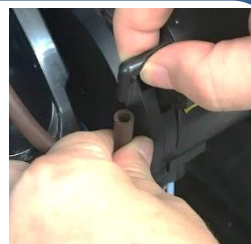


3 ・ユニットの抽出チューブ(A)を抜いてくだ
 さい。
 ・ユニット下の赤いロックバー(B)を左に
 動かしてください。

注意 :ユニットや残存した液体
 が熱い場合があります
 ので火傷に注意して作
 業してください。



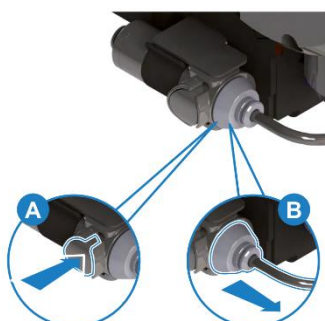
※① 抽出チューブとシノズル



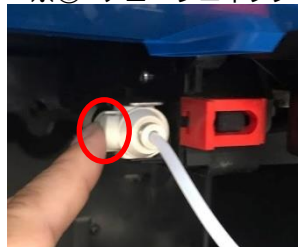
※② ロックバー(赤)



4 ユニット下左にあるインレットチューブコネクター(A)のボタンを押すと(B)の部分よりチューブコネクターの
 ロックが解除されます。コネクター抜いてください。



※③ チューブコネクター



5

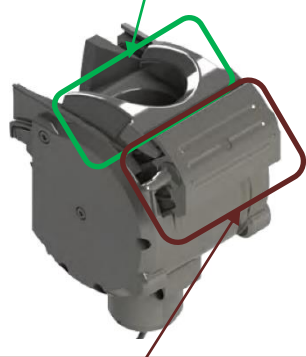
・抽出ユニットを写真の様に持ち(親指を写真の様にそえる)、矢印方向(斜め下)に動かすと取り付け部からユニットが外れます。



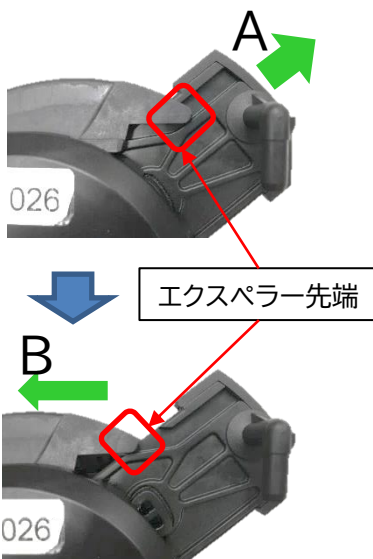
6

抽出ユニットから上ピストンを少し抜き(A)エキスペラーをスライドさせ(B)エキスペラー先端をレール溝から外してください。

エキスペラー
(カスを廃棄する部分)

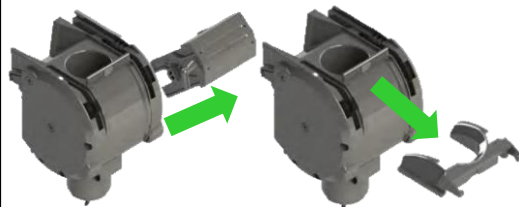


上ピストン
(コーヒー粉を圧縮する部分)



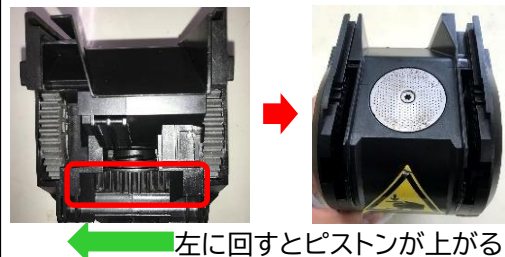
7

上ピストン、エキスペラーを抽出ユニットから外してください。



8

下ピストンが一番上に来るようにギアを手で左回転させてください。



9

①ユニット本体 ②上ピストン ③エキスペラーを水洗いしてください。

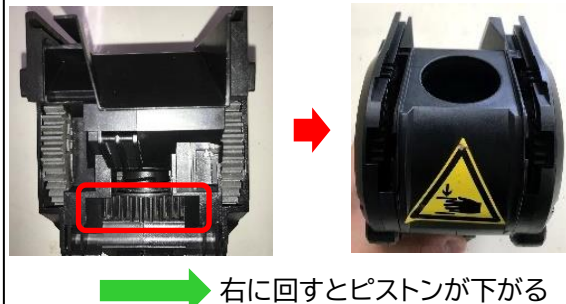


ユニット本体のギア部洗浄は、ブラシを使用してください。
詳細は次ページに記載

- 10 ユニット本体ギア部の洗浄は付属の1番大きいブラシを使用反転させ、裏側も洗浄してください。



- 11 下ピストンが一番下に来るようにギアを手で右回転させてください。

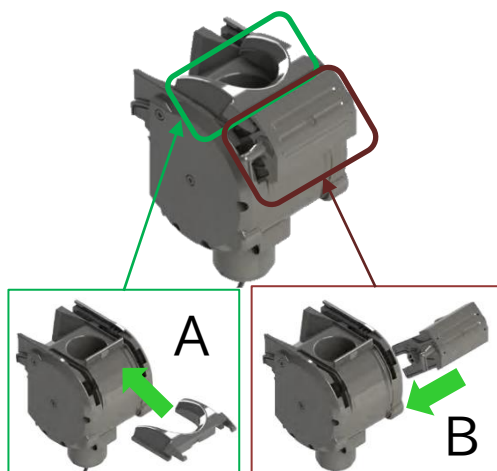


- 12 ペーパータオルやタオルで水分を拭きとってください。

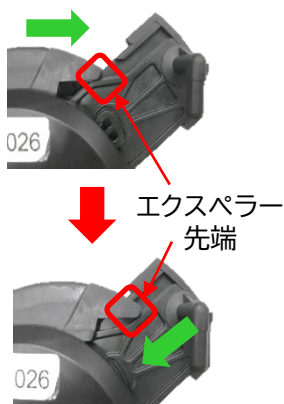


水分を拭き取らないで組み立てを行うと取り付け後エラー表示する場合があります

- 13 抽出ユニットを組み立てます。



エキスペラーの爪をピストン横の溝に通すように連結させます。



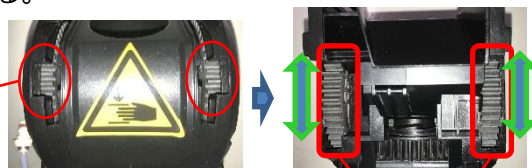
※抽出ユニットの溝に上ピストンが入らない場合

- ①上ピストンの向き間違い。
チューブの差し込むノズルが左側になるように取り付けする。



- ②ユニットの中のギア位置がズれている。
ユニット後ろのギアを回して上ピストンが入る位置に穴を合わせる。

ピストンが入る穴がズれている。

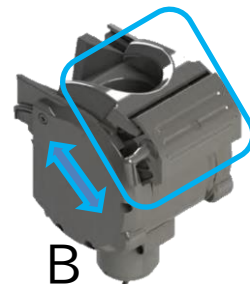
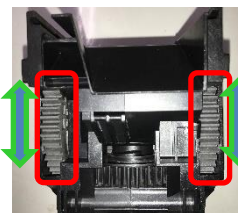


穴を合わせる。



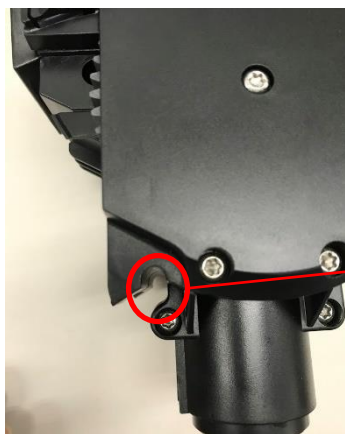
ギアを手で回して位置を変える。

- 14 後ろのギアを手で回して(A)、上ピストンとエキスペラーが連動して前後に動くか(B)確認してください。



15

抽出ユニット下の写真の赤丸部分をマシン側ユニット取付部の金属バーに引っ掛けるように載せてください。



16

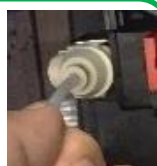
一方の親指でエクスペラーを手前に抑え、もう一方の手を添えて、両手で抽出ユニットを矢印方向押し込んでください。ユニットが固定されます。



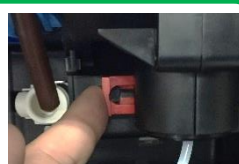
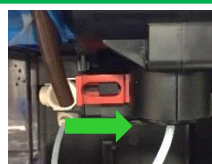
17

- ①ユニット下左にあるインレットチューブコネクタにコネクタを差し込みロックさせてください。
(カチッという感触があります。軽く引っ張り抜けなければロックされています)
- ②ユニット下の赤いロックバーを右に動かしてください。(ユニットがロックされます)
- ③ユニットの抽出チューブをノズルに差し込んでください。

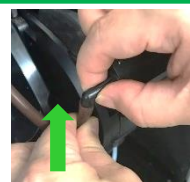
①



②

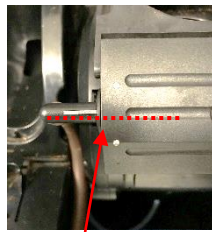


③



18

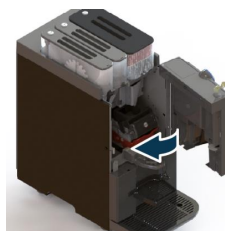
抽出ユニットのノズルが奥向きになるようチューブを調整してください。



ユニットの溝とノズルが一直線になる位置

19

カス箱を戻し、前面ドアを閉めてドアキーを閉じてください。



※マシンを起動させた後エラーが表示された場合はユニットがきちんと取り付けられていないことが考えられます。

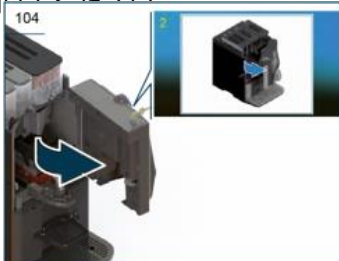
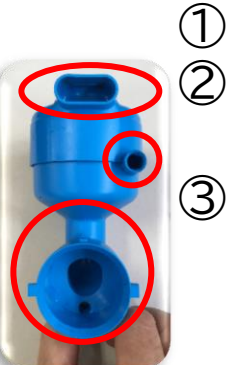
再度赤いロックバーを左に動かしてからユニットの取り付けをもう一度やり直してください。

稼働した週は週に1回の頻度で終業時にミキサーボディーの分解洗浄を行ってください。

注意 : 行わないとミキサーに残った古いパウダーにより食品衛生悪化、ドリンク品質の悪化、マシン故障が発生する可能性があります。



誤った手順で行った場合、ケガ、部品の破損、抽出ドリンクの品質の悪化が発生する可能性があります。規定の手順で実施ください。

1 アルコールスプレーを手に噴霧して、手指の除菌をしてください。 ドアキーを解除して前面ドアを開けてください。 	2 パウダー出口シャッターを閉めてから、パウダーキャニスターを外してください。 	3 パウダーチューブを引き抜きぬいてください。 注意 : 部品や残存した液体が熱い場合がありますので火傷に注意して作業してください。 
4 ミキサーロックを右側にスライドしてください。 	5 ロックが外れましたらミキサーボディーを手前に引き抜いてください。 	6 ミキサーボディーから エアー抜きラバーを取りはずしてください。 
7 ミキサーボディーの上フタと中フタを取りはずしてください。 	8 外したパーツをシンクで水洗いしてください。注入出口は中ブラシを使用して擦り洗いしてください。  中ブラシ	9 ペーパータオルでエアー抜きラバーの水分をしっかりと拭き取ってください。 
10 ペーパータオルで水気を拭き取った後、中フタをミキサーボディーに取り付けてください。 	11 上フタを被せ、注入口とフタの切込みを合わせて組み立ててください。 	12 完成品は、①②③すべてが同じ方向になります 

- 13 ミキサー本体にエア抜きラバーを取り付けてください。



- 14 マシンにミキサー本体の取り付けを行ってください。



- 15 ミキサー本体の切りかき部をあわせて、まっすぐ挿入してください。



- 16 ミキサーロックレバーを左側に回しロックしてください。

(注)  ミキサー本体を軽く引き、確実にロックされているか確認してください。



- 17 パウダー用チューブを取り付けてください。



(注)  チューブの挿し忘れに注意してください。

挿し忘れるとパウダー液がマシン内部に漏れてしまいます。

ミキサー取付け時の注意点



① エア抜きラバー差込口

② パウダーお湯出口

③ ミキサー攪拌部

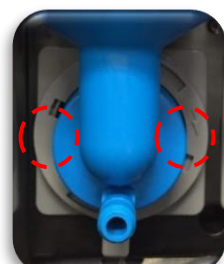
ミキサーを取付ける時は①→②、③の順に差し込んでください。



ミキサー攪拌部の凸凹をしっかりと差込んでください。



ミキサーロックレバーを回しロックすると凸凹は隠れます。



(注) 取りつけ不備があると液漏れが発生してしまいます。

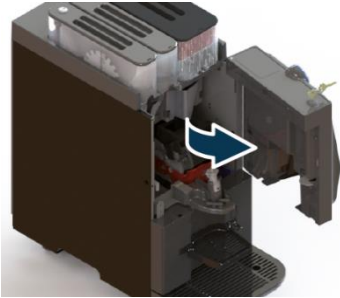
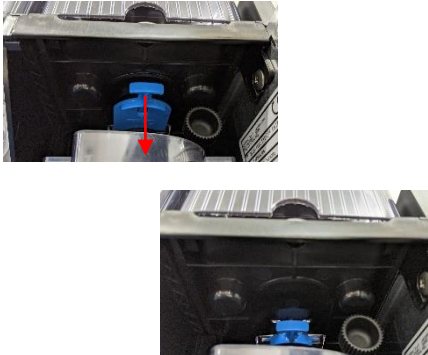
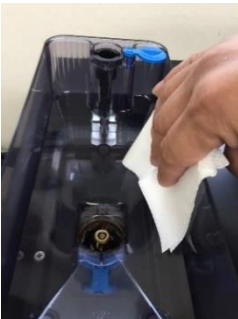
週1回終業時のお手入れ 豆ホッパーの清掃

週に1回の頻度で終業時に豆ホッパーの清掃を行ってください。

注意 :行わないとホッパに残った古い豆や油分により食品衛生環境の悪化、ドリンク品質の悪化、マシン故障が発生する可能性があります。



誤った手順で清掃を行った場合、ケガ、部品の破損、抽出ドリンクの品質の悪化が発生する可能性があります。規定通りの手順で実施ください。

1 ドアキーを解除して前面ドアを開けてください。 	2 豆ホッパーのシャッター奥まで押し込んでください。 	3 豆ホッパーを上を持ち上げて取り外し、グラインダー口に残った豆を清掃してください。 
4 カギを挿入し、フタのロックを外し、豆ホッパー内に残った豆を取り除いてください。 	5 ホッパー内部とフタを水洗いしてペーパータオルで水気を拭き取って完全に乾燥させてください。 	6 豆ホッパーのフタを元に戻しカギを閉めてください。 

週1回終業時のお手入れ パウダーキャニスターの清掃

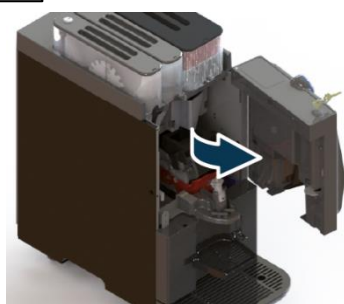
週に1回の頻度で終業時にパウダーキャニスターの清掃を行ってください。

注意: 行わないとキャニスターに残った古いパウダーにより食品衛生悪化、ドリンク品質の悪化、マシン故障が発生する可能性があります。

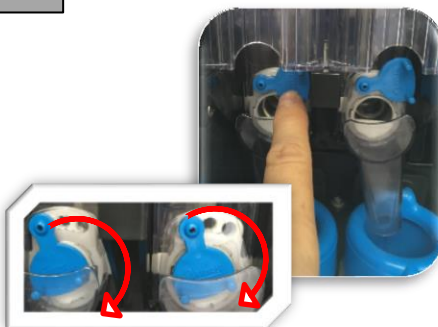


誤った手順で清掃を行った場合、ケガ、部品の破損、抽出ドリンクの品質の悪化が発生する可能性があります。規定の手順で実施ください。

1 ドアキーを解除して前面ドアを開けてください。



2 パウダー出口シャッターを閉めてください。



3 パウダーキャニスターを奥に傾けながら上に持ち上げて取り外し、キャニスターのまわりを清掃用ハケで清掃、キャニスター内に残ったパウダーを取り除いてください。



4 出口シャッター付近をつまんで右回りに45度回し、シューターを外してください。



注: 透明のシューターの先端をつまんで外すとシューターが破損するおそれがあります。



5 送りスクリュ固定リングを左に回して外してから、送りスクリュを左に回しながらキャニスターより引き抜いてください。



送りスクリュ

6 キャニスター内側側面をやや広げながら凹位置から回転ホイールを外してください。

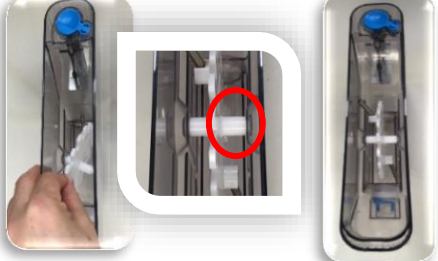


やや広げます

7 分解した部品を洗浄し乾いた布もしくは、ペーパーで水気を拭き取って完全に乾燥させてください。



8 キャニスター内側側面をやや広げながら回転ホイールを挿入し凹位置にセットしてください。



9 送りスクリュを取り付けてください。



切欠きを合わせる

10 送りスクリュ固定リングを右に回して組み付けてください。



送りスクリュを手回しで反時計方向に回し、スムーズに回転するか確認してください。



注: 回転ホイールのバネが送りスクリュに引っかかる時は再度取り付け直してください。

11 取外した時とは逆の手順でシューターをキャニスターに取り付け、キャニスターを本体に取り付けてください。



12 パウダー出口シャッターを開いて終了です。



注: パウダー出口シャッターを完全に開いた状態で抽出を行わないと各ドリンクのパウダー量が減ってしまいドリンクの味が変わってしまいます。

本製品の電源を切る

1

ドリンクメニュー表示画面の状態から指で画面の枠外から枠内にフリックしてください。

※誤ってドリンクメニューをタッチしないように注意してください。



2

パスワード画面が表示されたら、[44444]を入力し、スタートボタンをタッチしてください。



3

メンテナンス画面が表示されたら「スイッチOFF」をタッチしてください。



4

OFF画面が表示されたら、本製品背面の電源スイッチを○側に倒して電源を切ります。



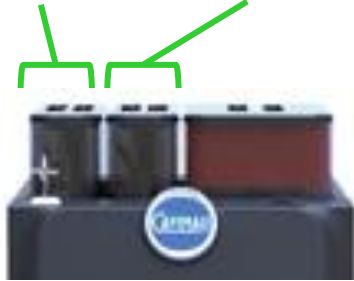
消耗品

以下、消耗品を取り扱っております。販売店もしくは弊社コールセンターにお問い合わせください。

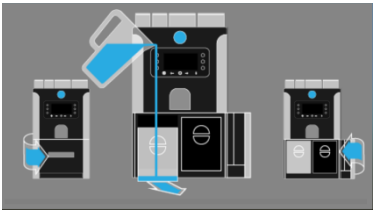
商品コード	名称	画像
9605356	電源ケーブル100V 96.05356	
9505213	前面ドア-ASSY 95.05213	
0106798	排水トレイ ASSY BD26 01.06798	
3705256	排水スリット BD26 14.05256	
0106466	ES加箱ASSY BD26 01.06466	
9505200	ロッキーマシン-小 95.05200	
3705253	豆ホッパー-蓋 37.05253.ST12	
0106219	豆ホッパー-ASSY 01.06219	
3705285	グラインダー-シューター-S 37.05285	
3705251	キャニスター-蓋 37.05251.ST12	
0106220	パウダー-キャニスター-ASSY 01.06220	
0106253	ミキサー1 シューター-ASSY 01.06253	
0106867	ミキサー2 シューター-ASSY BD26 01.06867	
0106214	抽出ユニット(イスノリ付) 01.06214.L1	

商品コード	名称	画像
8605027	ミキサーマニホールドデキャンター 86.05027	
3705157	ミキサーホッパードイキャンター V3(青) 37.05157	
3705333	ミキサーリング 37.05333	
3705334	ミキサーホッパードイ 37.05334	
3705306	抽出ノズル 37.05306	
0106805 (オプション)	水タンクAssy BD26 01.06805	
3705564 (オプション)	水タンク蓋 BD26 37.05564.ST01	
0100020 (オプション)	ES加箱ダストシュートKIT BD26 01.00020	
93130	清掃用ブラシセット	
904112	清掃用ハケ	
93000	マシニングクリーナー (2g) 100錠入り	
9100058	排水受け容器4.2L	

アラーム表示 ①

各アラームディスプレイ表記	原因	処置
コーヒー豆無し - 1 	コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆がありません。 コーヒー豆ホッパーのストッパーが閉じています。 シューターに粉が詰まっていないか。	① コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆を補充してください。 ② コーヒー豆ホッパーをストッパーを開けてください。 ③ シューターを清掃し粉を除きます。 ! 豆を入れただけではメッセージは消えません。 補充後Powerボタンをタッチするとメッセージが消えます。
コーヒーホッパー 1 	コーヒー豆ホッパーのフタのカギがロックされていません。 コーヒー豆ホッパーが正しくセットされていません。	① コーヒー豆ホッパーのフタをきちんと閉じてカギをロックしてください。 ② コーヒー豆ホッパーを正しくセットして、豆ストッパーを開けてください。 コーヒー豆ホッパー 1 
パウダー1 	左側パウダーキャニスターのフタのカギがロックされていません。 左側パウダーキャニスターが正しくセットされていません。	① 各パウダーキャニスターのフタをきちんと閉じてカギをロックしてください。 パウダーキャニスター 1 パウダーキャニスター 2 
パウダー2 	右側パウダーキャニスターのフタのカギがロックされていません。 右側パウダーキャニスターが正しくセットされていません。	

アラーム表示 ②

各アラームディスプレイ表記	原因	処置
排水トレイが満杯です 	排水トレイが満水になりました。 ※本エラーは排水が350ml以上に到達すると表示しますのでトレイに余裕がある場合もございます。	① 排水トレイを抜いて溜まった排水を捨てて、排水トレイを元の位置に挿入してください。
排水トレイをセット 	排水トレイが抜けています。 排水トレイがきちんとセットされていません。 排水トレイのセンサーが汚れています。	① 排水トレイを元の位置に挿入してください。 ② 排水トレイを抜き再度セットしてください。 ③ 排水トレイのセンサー(金属部)を清掃してください。 ※トレイの抜き差しの際、画面表示が変わるまで10秒程かかります。
ESカス箱を空にする 	コーヒークス箱が満杯になりました。 ※本エラーは抽出回数が規定数の30回に到達すると表示しますのでカス箱に余裕がある場合もございます。	① コーヒークス箱を抜いて溜まったカスを捨ててください。 ② カスを捨てた後、カス箱を戻して、表示に従い、カス箱カウンターをリセットしてください。(P13参照)
カス箱が抜けてます 	コーヒークス箱が抜けています。 コーヒークス箱がきちんとセットされていません。	① コーヒークス箱を抜き再度セットしてください。
給水エラー 	(水道直結式のみ) 水の供給が遅い。 水がマシンに供給されていない。 異常な水圧がかかり、給水弁がロックした。 ※漏水事故を防ぐための機能が搭載されており、マシンを傾ける、振動させるなどして、異常な水圧を検知すると、給水弁がロックし、給水エラーが発生します。	① 水の元栓が閉まっていたら開いてください。 ② 給水ホースが折れている箇所がないか点検してください。 ③ 断水していないか確認してください。 ①～③に問題がないのにエラーが解消しない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。
給水タンク水補充アラーム 	(給水タンク式のみ) 給水タンクの水が減っています。 ※給水タンクの水が700ml以下に減るとアラームが出ます。 給水タンクが抜けています。 給水タンクがきちんとセットされていません。	① 給水タンクに水を補充してください。 ② 給水タンクを戻してください。

トラブルシューティング ①

症状	確認項目、対処
・電源が入らない。	① ブレーカーが落ちていないかを確認してください。 ② コンセントからプラグが抜けていないかを確認してください。 ③ 電源ケーブルが本製品背面のソケットから抜けていないかを確認してください。(P7参照) ④ 前面ドアが閉まっているか、ドアキーがロックされているかを確認してください。 本製品背面の電源スイッチが○側に倒れていないかを確認してください。(P7参照) ①～⑤に問題がないのに症状が改善されない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。
・本製品下より水漏れした。	① 排水トレーがきちんと挿入されているかを確認してください。(P12参照) ② 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けてないかを確認してください。 →抜けていたら抽出ユニットの茶色いチューブをセットしてください。 ③ ミキサーボディーにチューブが正しく差し込まれているかを確認してください。 →抜けていたらミキサーボディーのチューブをセットしてください。 ①～③に問題がないのに症状が改善されない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。  抽出ユニット チューブ接続部 ミキサーボディー チューブ接続部 
・コーヒークラス箱に液体が溜まる。 ・コーヒークラス箱のカスが水っぽい。	① 抽出ユニットの茶色いチューブが抜けてないかを確認してください。 →外れていたら茶色いチューブをセットし直してしてください。 ② ESグループクリーニングを行なってください。(P33～P34参照) ③ 抽出ユニットの分解洗浄を行い、正しい手順で設置してください。(P18～P21参照) ①～③に問題がないのに症状が改善されない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。
・コーヒーの味が薄くなった。	① コーヒー豆がホッパーに入っている事を確認してください(P11参照) →残量が少ない場合は補充をしてください。 ② 豆ホッパー(豆の容器)の内部に豆が張り付いている場合、ホッパー内を清掃し、豆を補充してください。(P24参照) ③ 豆ホッパー内に異物(豆の袋など)が無いかを確認してください。 →異物があった場合は除いてください。 ④ ホッパーシャッターが完全に開いているかを確認してください。 →ホッパーシャッターが閉じていたら完全に開いてください。 ⑤ コーヒーシューターに粉が溜まってないかを確認してください。 →溜まっていたら、掃除用ハケでシューターを清掃してください。 ⑥ ESグループクリーニングを行なってください。(P33～P34参照) ①～⑥に問題がないのに症状が改善されない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。

トラブルシューティング ②

症状	確認項目、対処
・コーヒーの出方が悪い。 ・コーヒーの量が少ない。	① コーヒーの抽出ノズルの詰まりの可能性があるのでノズルの清掃を行ってください。(P15参照) ② 抽出ユニットと抽出口間の茶色いチューブが抜けてないか確認してください。 →外れていたら茶色いチューブをセットし直してしてください。 ③ ESグループクリーニングを行なってください。(P33～P34参照) ①～③に問題がないのに症状が改善されない場合は、抽出ユニットの分解洗浄を行い、正しい手順で再設置してください。(P18～P21参照) 抽出ユニットの分解洗浄をしても症状が改善されない場合は、販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。
・パウダードリンクの味が薄くなった。	① パウダーがキャニスターに入っている事を確認してください。 →残量が少ない場合は補充をしてください。(P11参照) ② キャニスターの内部でパウダーが変質し固まってパウダー供給量が少なくなることがあります。 →変質したパウダーを除去し、キャニスターに固着したパウダーを清掃して、新鮮なパウダーを補充してください。(P25参照) ③ キャニスター内に異物(パウダー袋など)が無いか確認してください。 →異物があつた場合は除いてください。 ④ キャニスターシャッターが完全に開いているか確認してください。 →キャニスターシャッターが閉じていたら完全に開いてください。 ⑤ パウダーシューターにパウダーが固着してパウダー供給量が少なくなることがあります。 →シューターに固着したパウダーを取り除いて洗浄後、完全に乾燥させてから元の位置に戻してください。(P25参照) ⑥ ミキサークリーニングを行なってください。(P36参照) ①～⑥に問題がないのに症状が改善されない場合は、販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。
・パウダードリンクの出方が悪い。 ・パウダードリンクの量が少ない。	① パウダードリンクのノズルの詰まりの可能性があるのでノズルの清掃を行ってください。(P15参照) ② ミキサーボディーにチューブが正しく差し込まれているか確認してください。 →抜けていたらミキサーボディーのチューブをセットしてください。 ③ ミキサークリーニングを行なってください。(P36参照) ①～③に問題がないのに症状が改善されない場合はミキサーボディー内にパウダー固着している可能性があります。分解洗浄を行い、正しい手順で再設置してください。(P22～P23参照) ミキサーボディーの分解洗浄後にも症状が改善されない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。

トラブルシューティング ③

症状	確認項目、対処
・メニューとは異なるパウダーがドリンクに混じっている。	① パウダーシューターに吸湿したパウダーの塊が付着していないか確認をしてください。マシンの振動により、キャニスターの送りスクリューが動作していないのにパウダーがミキサーに落ちてしまうことがあります。 →シューターにパウダーの塊の付着がある場合は、付着した塊を取り除いてください。(P25参照) はミキサーボディー内にパウダー固着している可能性があります。分解洗浄を行い、正しい手順で再設置してください。(P22～P23参照) ミキサーボディーの分解洗浄後にも症状が改善されない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。
立ち上げ中またはコーヒー抽出中「ES グループ エラー」が表示した。	① 抽出ユニットの分解洗浄を行い、正しい手順で設置してください。(P19～P23参照) ② 抽出ユニットの分解洗浄、設置後に症状が改善されない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。
コーヒー抽出中に「フローメーターエラー」が表示した。	① 抽出ユニットの分解洗浄を行い、正しい手順で設置してください。(P18～P21参照) 抽出ユニットの分解洗浄、設置後に症状が改善されない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。
パウダードリンク抽出に「フローメーターエラー」が表示した。	① ミキサーボディーの分解洗浄を行い、正しい手順で設置してください。(P22～P23参照) ミキサーボディーの分解洗浄、設置後に症状が改善されない場合は販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。
サーモブロックやボイラーに関連した以下のエラーが表示された 「ボイラー温度 高」 「ボイラー温度 低」 「スチーム温度 高」 「スチーム温度 低」 「温度センサーエラー」など	マシンの電源を切り、販売店もしくはコールセンターにご連絡ください。

ESグループクリーニングは、コーヒー抽出経路を洗浄液で洗浄、リンスすることで抽出ユニットやチューブ内に溜まった抽出液をすすぐ機能です。

グラインダーからのコーヒー粉供給に問題がないのにコーヒーの抽出量が少ないなどのコーヒー抽出経路に問題がある場合はESグループクリーニングを行ってください。

注意: 誤った手順でクリーニングを行った場合、ケガ、部品の破損、抽出ドリンクの品質の悪化が発生する可能性があります。規定の手順で実施ください。



- 1 コーヒー抽出ノズルを中ブラシを使用して掃除してください。



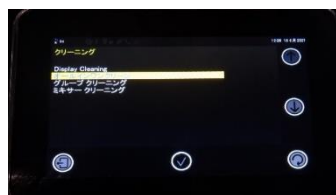
- 2 ドリンクメニュー表示画面の状態から指で画面の枠外から枠内にフリックしてください。



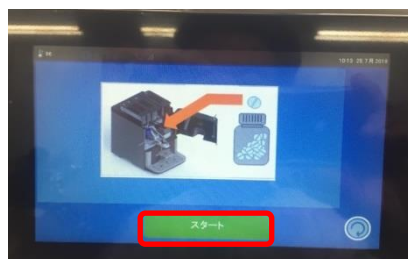
- 3 パスワード画面が表示されたら[44444]を入力し、スタートボタンをタッチします。メンテナンス画面が表示されたら「クリーニング」をタッチします。



- 4 クリーニング画面になったら上下ボタンでカーソルを「グループクリーニング」に合せてスタートボタンをタッチ→「ESグループクリーニング」に合せて決定ボタンをタッチします。



- 5 下の画面になったらスタートボタンをタッチしてください。

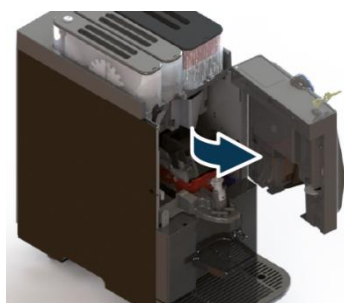


ドア開ークリーナ投入
入
ドア閉

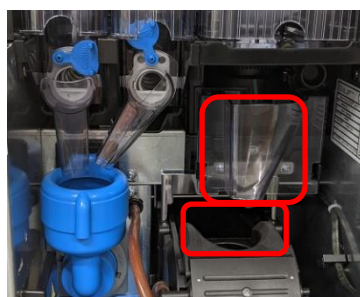
が表示され5秒程待ち次に進みます。
(時間が早いとクリーニングモードに入りません)



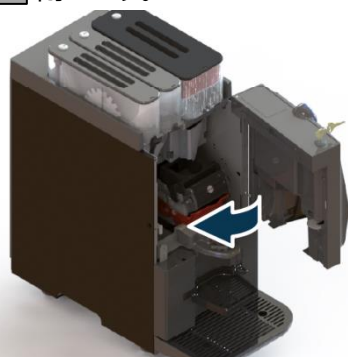
- 6 ドアキーを解除して前面ドアを開けます。



- 7 抽出ユニットの穴にマシンクリーナーを1錠入れます。シューターや抽出ユニットの周囲にコーヒー粉が付着している場合は清掃用ハケを使ってコーヒーカス入れに落とします。



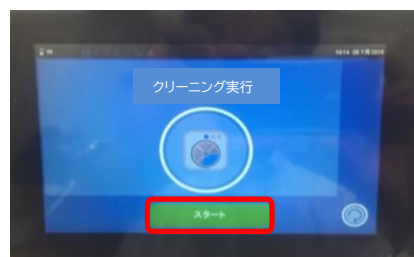
- 8 前面ドアを閉めてドアキーを閉めます。



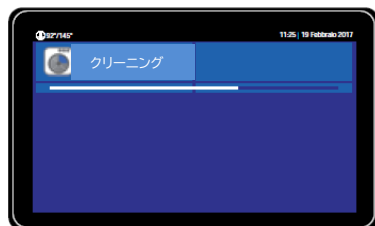
- 9 抽出ノズル下に排水受け容器を置きます。



- 10 画面が変わりましたらスタートボタンをタッチしてクリーニングを開始します。



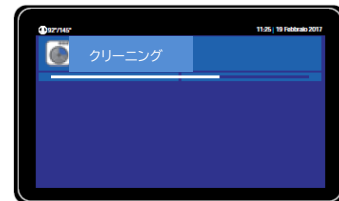
- 11 ESグループクリーニング
(コーヒー経路)を開始します。
約6分かかります。
**抽出口より熱いお湯が出ます
ので火傷に注意してください。**



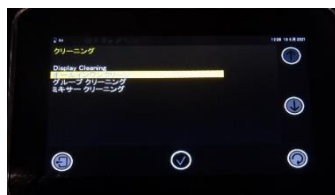
- 12 クリーニング中に[排水トレイが満杯です]と表示された場合は排水
トレイを抜いて排水を捨ててください。(ただし 前項「9」の手順で
抽出ノズル下に排水受け容器が置かれている場合は排水トレイに排
水が入らないのでこの表示は出現しません。)

トレイを再セットするとクリーニングが再開されます。

※トレイの抜き差しの際、画面表示が変わるまで5秒程かかります。



- 13 クリーニング完了音(3回)が
鳴って、クリーニング画面に戻り
ます。
終了  をタッチすると、
メンテナンス画面に戻ります。



- 14 メニュー選択ページをタッチするとメニュー画面に戻ります。
排水受け容器に溜まった排水を捨てから水洗いし、片付けます。



トラブルシューティング⑤ ESグループ 簡易リンス

ESグループ 簡易リンスは、コーヒー経路をお湯でリンスすることで抽出ユニットやチューブ内に溜まったコーヒー液をすすぐ機能です。

注意 : 誤った手順で行った場合、火傷などのケガが発生する可能性があります。
規定の手順で実施ください。

1 コーヒー抽出ノズルを中ブラシを使用して掃除してください。



中ブラシ

2 ドリンクメニュー表示画面の状態から指で画面の枠外から枠内にフリックしてください。



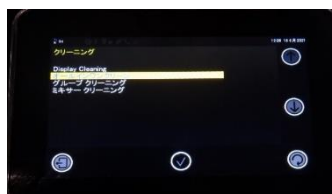
3 パスワード画面が表示されたら[44444]を入力し、スタートボタンをタッチします。
 メンテナンス画面が表示されたら「クリーニング」をタッチします。



4 抽出ノズル下に排水受け容器を置きます。

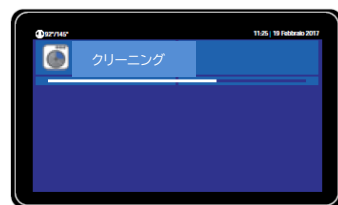


5 クリーニング画面の上下ボタンでカーソルを「グループクリーニング」に合せてスタートボタンをタッチ→「ES簡易リンス」に合せて決定ボタンをタッチします。



6 ESグループ 簡易リンス(コーヒー経路)を開始します。

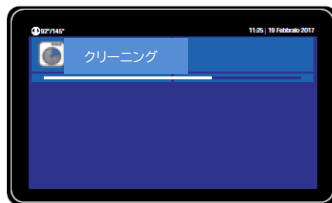
抽出口より熱いお湯が出ますので火傷に注意してください。



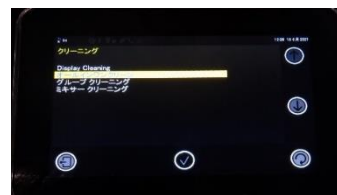
7 クリーニング中に[排水トレイが満杯です]と表示された場合は排水トレイを抜いて排水を捨ててください。(ただし 前項「9」の手順で抽出ノズル下に排水受け容器が置かれている場合は排水トレイに排水が入らないのでこの表示は出現しません。)

トレイを再セットするとクリーニングが再開されます。

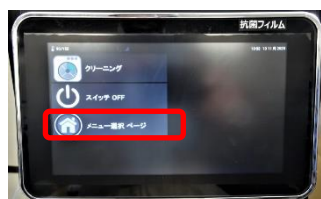
※トレイの抜き差しの際、画面表示が変わるまで5秒程かかります。



8 クリーニング完了音(3回)が鳴ってクリーニング画面に戻ります。
 終了 [終了] をタッチすると、メンテナンス画面に戻ります。



9 メンテナンス画面で「メニュー選択ページ」をタッチするとメニュー画面に戻ります。
 排水受け容器に溜まった排水を捨てから水洗いし、片付けます。



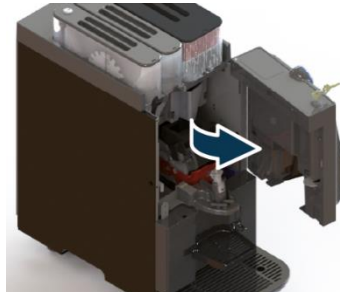
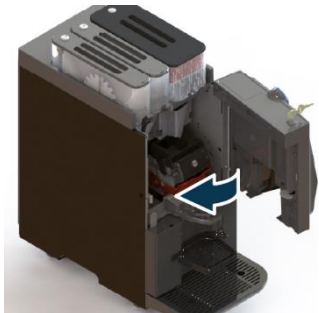
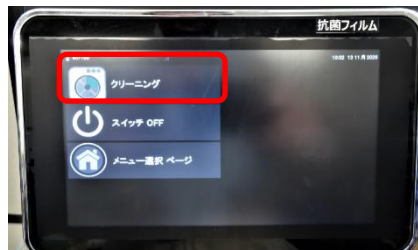
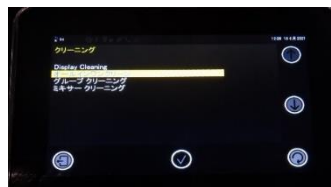
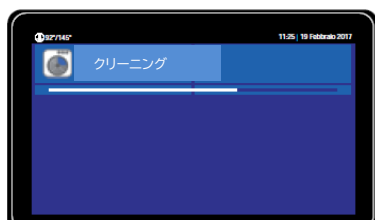
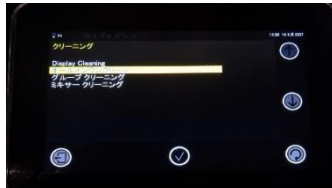
トラブルシューティング⑥ ミキサークリーニング

ミキサークリーニングは、パウダードリンク経路をお湯でリンスすることでミキシングボディーやチューブ内に溜まった抽出液をすすぐ機能です。
 パウダーの供給に問題がないのにドリンクが薄い、溶け残りや別のパウダーが混じるなどのパウダードリンク経路に問題がある場合はミキサークリーニングを行ってください。

注意 : 誤った手順で行った場合、火傷などのケガが発生する可能性があります。



規定の手順で実施ください。

1 ドアキーを解除して前面ドアを開けます。 	2 シューター出口,ミキサーの周囲にパウダーが付着している場合は清掃用ハケを使ってミキサー内に落とします。 	3 前面ドアを閉めてドアキーを閉め、再起動します。 
4 パウダードリンクノズルを中ブラシを使用して掃除してください。  中ブラシ	2 OFF画面になったらPowerボタンをタッチします。 	3 メンテナンス画面の「クリーニング」をタッチします。 
4 抽出ノズル下に排水受け容器を置きます。 	5 クリーニング画面の上下ボタンでカーソルを「ミキサークリーニング」に合せて決定ボタンをタッチします。 	6 ①ミキサークリーニング (パウダー経路)が開始されます。 抽出口より熱いお湯が出ますので火傷に注意してください。 
7 クリーニング完了音(3回)が鳴ってクリーニング画面に戻ります。 終了をタッチすると、メンテナンス画面に戻ります。 	8 メンテナンス画面の「メニュー選択ページ」をタッチするとメニュー画面に戻ります。 排水受け容器に溜まった排水を捨てから水洗いし、片付けます。 	

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理いたします。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。
当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間:365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------------|
| ●お名前 | ●商品名 BlueDot 26 Plus E 12 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書（業務用製品）

型 名	カリマリ社製 コーヒーマシン BlueDot 26 Plus E 12	
シリアル番号		
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間	
※お買い上げ日	年 月 日	
※ お 客 様	お 名 前	
	住 所	〒
	電 話	()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象製品

本保証書に記載の製品。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス（以下「本保証」といいます。）は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社（以下「ブルーマチック」といいます。）がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品（以下「本製品」といいます。）について、「保証サービス規程」（以下「本規程」といいます。）に定めるところに従い、無償修理（以下「保証修理」といいます。）を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障（以下「自然故障」といいます。）を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。（以下、この期間を「保証期間」といいます。）保証期間内において本製品に係る修理回수에制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品（新品）が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

本保証が効力を有する期間に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。（以下、「上限金額」といいます。）なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行えず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合（事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。）

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由ないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由ないし費用、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要となる費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター（下記記載）に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報（製品情報及び個人情報）の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書（必要情報が記載されております。）の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご連絡ください。ご通知いただかなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供するため、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社（メーカー・修理会社・販売店・金融機関等）へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理（代替品の提供を含む。）に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
 2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
 3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
 4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
 5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
 6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。
- お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）」に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（障害に起因する死亡及び怪我を含む。）並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用（日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等）等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷（車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。）。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入（金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等）の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品（浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、バックিং、ガasket、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品）の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの（外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等）。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害（外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む）。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整（味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加）、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争（宣戦の有無を問わず）、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品（シリアル番号等が異なる場合等）の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合（但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。）

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員（暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。）、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力（以下「反社会的勢力」といいます。）に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合（お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。）、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用（キャンセルに伴う一切の費用を含む。）に加え、処分に要した費用一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

MEMO

MEMO

MEMO



ブルーマチックジャパン株式会社
本社:神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22
大阪(営):大阪府大阪市西区阿波座1-9-9
福岡(営):福岡県福岡市博多区豊1-5-24 丸信ビル108
<http://www.brewmatic.co.jp/>